

令和 6 年 5 月 3 1 日

●スーパーグローバル大学創成支援事業

『事後評価』様式に関する差替依頼 ～（R6.5.20 各大学個別送付資料からの変更）～

【概要】

文部科学省より、令和 6 年 5 月 20 日付 6 文科高第 259 号「スーパーグローバル大学創成支援事業の事後評価に実施について（通知）」を発出し、同日付で、事務局（日本学術振興会）より、ホームページへ「事後評価」についての概要を掲載するとともに、各大学宛に（申請時の計画調書の内容等を転載した）資料一式を送付させていただいたところです。

上記個別送付資料のうち、「成果指標データ」の作成様式にて、一部不備がございましたので、各大学におかれましては、データ差替のうえ、ご対応いただけますようお願い致します。

（日本学術振興会 HP）「スーパーグローバル大学創成支援事業」

https://www.jsps.go.jp/j-sgu/jigo_hyoka_yoshiki.html

【資料】

● 事後評価調書（word）

（「表紙（基本情報）」～「4.学生アンケート概要」）

⇒ 今回、改めての様式送付は行いません。ただし、様式に一部項目追記の上、ご対応いただくよう、事務局よりメール（R6.5.21 付：「【一部作業のお願い】 事後評価調書について スーパーグローバル大学創成支援事業事後評価調書様式の送付について」）にてご案内差し上げておりますので、以下の通り合わせてご対応いただけますと幸いです。

～（以下、ご案内分抜粋再掲）～

様式等の「事後評価調書記入要領（PDF/721KB）」p10：構想の実現状況等（概要）ページにおいて、記入要領上は以下のとおり、1 ページ内において、項目を分けて記載いただくよう例示しているところです。

- ・ **I.事業全体の取組について**
- ・ **II.事業期間での大学の成長（アウトカムとの繋がり）**

こちら、各採択大学へ個別に送付させていただいた、一部転記済の「事後評価調書」（※タイプ A,B 両者）において、様式上、ページ内の項目の記載が漏れてご案内しておりました。

大変お手数をおかけして申し訳ありませんが、各採択大学におかれましては、ウェブサイト掲載の「事後評価調書記入要領（PDF/721KB）」p10 をご参照いただき、ページ内において、項目 I,II を各自追記し、どちらの内容も盛り込んだ形で、ご対応・ご提出いただきますようお願い致します。

● 事後評価データシート (excel) > **※差替様式送付**

(「5.経費（補助均等）の使用状況」、「成果指標データ」)

⇒ 「成果指標データ」について、一部不備がありましたので、今回送付の修正版様式に差替えのうえ、引き続きご対応いただきますようお願い致します。

※新たに記載が必要な箇所を、空白時に**緑色セル**として追加依頼箇所が分かるよう送付させていただいております。当初ご案内時にデータ入力が必要としておりました、**橙色セル**についても引き続きご対応ください。

※その他、変更箇所はございませんが、上記依頼に合わせ、該当箇所に計算式等を差し込んでおりますので、必ず様式を差替のうえ、ご対応・ご提出いただきますようお願いいたします。

<該当箇所>

● 成果指標データ

・ A_1.(1)③教職員に占める女性の比率

⇒ R3 年度、R4 年度の実績値を記載いただくよう様式修正。

・ B_1.(4)④学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組

⇒ 追加でご記載いただくものではございませんが、R2 年度 ～ R4 年度の実績値部分において、「－」でご案内していたものを、事務局にて、式を入れて、該当箇所よりデータを反映しております。

・ C_1.(6)④奨学金支給の入学許可時の伝達

⇒ R2 年度 ～ R4 年度の実績値を記載いただくよう様式修正。

・ D_1.(6)⑤混住型学生宿舎の有無

⇒ R3 年度、R4 年度の実績値を記載いただくよう様式修正。

・ E_2.(1)②テニユアトラック制の導入

⇒ R2 年度 ～ R4 年度の実績値を記載いただくよう様式修正。

・ F_3.(1)②学生の主体的参加と大学運営への反映の促進

⇒ R2 年度 ～ R4 年度の実績値を記載いただくよう様式修正。

<修正理由>

「スーパーグローバル大学創成支援事業」の事後評価要項 P2～3 のとおり、「必須項目」と「選択項目」がございます。このうち、「必須項目」については、毎年度（中間評価年度を除く）のフォローアップ調査において、指定様式により数値の報告を行っていただいております。

他方、「選択項目」については、フォローアップ時において都度のデータ提出は行っていないとおらず、中間評価（H29 年度、R2 年度）の際に、直近の実績値をご回答いただいていたものとなります。

この「選択項目」について、R2 年度中間評価以降のデータをご報告いただけていない状況のままでは、事後評価の実施に影響を与える恐れがあることから、資料の差替をお願いさせていただくものとなります。

（※「1.(4)④学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組」項目においては、「必須指標」。計算式追加による、様式修正は行っておりますが、作業が発生するものではないことを申し添えます。）